



中の
川よ
荒だ

青い雲



教育目標

「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」
目指す学校像：「笑顔と心のある学校」

村上市立荒川中学校
令和2年度第3号
令和2年6月12日発行

普通登校、「いつもどおり」のありがとう

校長 渡辺 安治

学校の周りの山々に萌える若葉が、雨模様の初夏の景色に美しく彩りを添えています。所々淡い紫色をした藤の花が新緑の中で映えています。時折吹き渡る風が、とても心地よい季節を迎えました。

五月二十日から、普通登校になりました。「緊急事態宣言」は解除されましたが、油断はできません。感染が広まり、臨時休校や分散登校にならないことを祈るばかりです。学校では引き続き感染症予防を第一として、できる対策を取りながら生活しています。朝の検温を記録します。玄関から校舎に入ってからの消毒は、毎朝職員が立ち会って、生徒に声を掛けながら健康観察もかねて行っています。最も有効な感染予防策は、『丁寧な手洗い』であると学校医の先生から伺い、全校生徒と職員で実践しています。

授業も密閉・密集・密接に配慮しながら進め、どの学年の授業も少しずつ増やしながら、遅れを取り戻すようにしています。班を作ってお互いの考えを述べて交換することはできません。そこで、学習プリントに自分の考えを記入し、質問や意見、感想を記入してもらい、友だちと学び合うことなどを工夫して取り入れています。

部活動も五月二十五日から再開されました。まず部活動ごとに集会を開きました。三年生にとっては最後の大会となる下越地区大会・県大会が中止となったことを受けて、今後の部活動をどのようにして締めくくるとかを顧問の先生と共に確認しました。「今の活動を大事にしながら、新たな目標に向けて頑張っていく。」「下級生には三年生の悔しい思いを心に留めてもらい、今後の大会に向けて取り組んでほしい。」など、前向きな気持ちを共有しました。皆で体を動かした久しぶりの活動に表情も明るく楽しそうでした。部活動が成長期の中学生にとって、心身の健康にどれほど大事なものであるかということに改めて感じました。新一年生のための部活動紹介もお互いに参観し、全校生徒が楽しく温かい雰囲気の中で行うことができました。

先生方も授業日が限られている中で、生徒のために何ができるか知恵を出し合い実践しています。今後も感染拡大防止に取り組み、学習・運動など教育活動の充実を努めます。保護者の皆様から、ご家庭での食事や休養（睡眠）にご配慮いただき、免疫力を高めて元気に送り出していただいていることに、感謝申し上げます。これから、ますます暑くなりますが、どうかよろしく願います。